

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【公表番号】特表2013-544805(P2013-544805A)

【公表日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-068

【出願番号】特願2013-536709(P2013-536709)

【国際特許分類】

C 07 D 413/06 (2006.01)
A 61 P 9/10 (2006.01)
A 61 P 3/06 (2006.01)
A 61 K 45/00 (2006.01)
A 61 K 31/4439 (2006.01)
C 07 D 413/14 (2006.01)
A 61 K 31/497 (2006.01)
C 07 D 417/14 (2006.01)
A 61 K 31/506 (2006.01)
A 61 K 31/4545 (2006.01)
A 61 K 31/5377 (2006.01)
C 07 D 491/08 (2006.01)

【F I】

C 07 D 413/06
A 61 P 9/10
A 61 P 3/06
A 61 K 45/00
A 61 K 31/4439
C 07 D 413/14
A 61 K 31/497
C 07 D 417/14
A 61 K 31/506
A 61 K 31/4545
A 61 K 31/5377
C 07 D 491/08

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月22日(2014.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

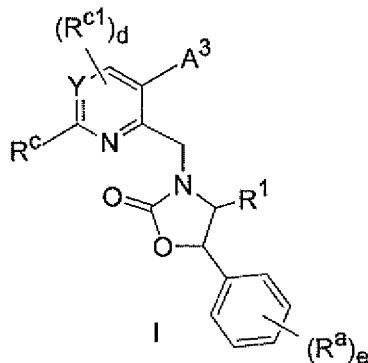
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式Iの化合物または該化合物の医薬として許容される塩。

【化1】



[式中、

A³ は下記の式IIもしくは式III：

【化2】



によって表され；

YはNまたはCHであり、R^{c1}が構造中に存在する場合、CHはR^{c1}で置換されても良く；

R¹はH、CF₃またはC₁₋₃アルキルであり；

各R^aは独立に、1から5個のハロゲンで置換されていても良いC₁₋₃アルキル、1から5個のハロゲンで置換されていても良い-O-C₁₋₃アルキル、ハロゲン、-CN、または1から3個のハロゲンで置換されていても良いC₃₋₄シクロアルキルであり；

R^cは、(a) R^cが結合しているヘテロ芳香族環に結合した1個のNを含む4から7員の単環式複素環であって、その単環式複素環が1から3個の二重結合、1個のカルボニルおよびそれぞれ独立にN、O、S、S(O)もしくはS(O)₂である1から3個の別のヘテロ原子基を含んでいても良いもの、または(b) R^cが結合しているヘテロ芳香族環に結合した1個のNを含む5から8員の二環式複素環であって、その二環式複素環が1から3個の二重結合、1個のカルボニルおよびそれぞれ独立にN、O、S、S(O)もしくはS(O)₂である1から3個の別のヘテロ原子基を含んでいても良いものであり、(a)または(b)で定義されるR^cは、独立にハロゲン、-OH、-CN、C₁₋₃アルキルもしくは-O-C₁₋₃アルキルである1から3個の置換基で置換されても良く、C₁₋₃アルキルおよび-O-C₁₋₃アルキルは1から3個のハロゲンで置換されても良く；

各R^{c1}は独立にC₁₋₃アルキル、-OC₁₋₃アルキルまたはハロゲンであり、いずれの場合もアルキルは1から5個のハロゲンで置換されても良く；

R^bは、H、C₁₋₃アルキル、-OC₁₋₃アルキル、-OC₃₋₆シクロアルキル、ハロゲン、-CN、-NO₂もしくは-OHであり、C₁₋₃アルキルおよび-OC₁₋₃アルキルは1から5個のハロゲンで置換されても良く、-OC₃₋₆シクロアルキルは1から3個のハロゲンで置換されても良く；

各R^{b1}は独立にC₁₋₃アルキル、-OC₁₋₃アルキルもしくはハロゲンであり、C₁₋₃アルキルおよび-OC₁₋₃アルキルは1から5個のハロゲンで置換されても良く；

Xは、

(a) (i) ハロゲン、(ii) -C₁₋₄アルキル、(iii) -C₃₋₆シクロアルキル-Yもしくは-C₁₋₃アルキル-Y(Yは-CN、-OHもしくは-OCH₃である。)または(iv)独立にハロゲン、-CN、-OH、-C₁₋₄アルキル、-OC₁₋₄アルキルもしくは-C(=O)C₁₋₂アルキルである1から3個の基で置換されたフェニル(全ての使用において、アルキルおよびシクロアルキルは1から3個のハロゲンで置換されていても良い。)；

(b) D¹(D¹は-CO₂H、-CO₂C₁₋₄アルキルまたは-C(=O)NR²R³である。)；

(c) -C₁₋₄アルキル-D¹(アルキルは1から3個のハロゲンで置換されていても良い。)；

(d) -C₃₋₆シクロアルキル-D¹(シクロアルキルは独立に-C₁₋₂アルキルもしくはハロゲンである1から2個の基で置換されていても良く、-C₁₋₂アルキルは1から3個のハロゲンで置換されていても良い。)；

(e) -C₃₋₆シクロアルキル-CH₂-D¹(シクロアルキルは、独立に-C₁₋₂アルキルもしくはハロゲンである1から2個の基で置換されていても良く、-C₁₋₂アルキルは1から3個のハロゲンで置換されていても良い。)；

(f) -フェニル-D¹(フェニルは、独立にハロゲン、-CN、-OH、-CH₃、-CF₃、-OCH₃もしくは-OCF₃である1から3個の置換基で置換されていても良い。)；

(g) -Het-D¹(Hetは、それぞれ独立にN、O、S、S(O)もしくはS(O)₂である1から4個のヘテロ原子基を有する5から6員のヘテロ芳香族環であり、Hetは独立にハロゲン、-CH₃、-CF₃、-OCH₃もしくは-OCF₃である1から3個の基で置換されていても良い。)；または

(h) -C₁₋₂アルキル-Het(Hetは、独立に-CH₃、-CF₃、-OCH₃、-OCF₃もしくはハロゲンである1から3個の基で置換されていても良い。)；

R²およびR³はそれぞれ独立にHもしくは-C₁₋₃アルキルであり、またはR²とR³が一体となって、3から5個の炭素を有する架橋基を形成していることで、4から6員の環状アミド基を生じていても良く；

dは0から2の整数であり；

eは0から3の整数であり；

fは0から2の整数である。]

【請求項2】

R¹がHまたはC₁₋₃アルキルであり；

各R^aが独立にCF₃、-OCF₃、CH₃、-OCH₃、ハロゲン、-CNまたはシクロプロピルであり、それは1から3個のハロゲンで置換されていても良く；

各R^{c1}が独立にCH₃、CF₃、-OCH₃、-OCF₃またはハロゲンであり；

R^bがH、C₁₋₃アルキル、-OC₁₋₃アルキル、-OC₃₋₆シクロアルキル、またはハロゲンであり、C₁₋₃アルキル、-OC₁₋₃アルキルおよび-OC₃₋₆シクロアルキルが1から3個のハロゲンで置換されていても良く；

各R^{b1}が独立にハロゲン、CF₃またはCH₃であり；

Xが、

(a) (i) C1、(ii) -C₂₋₄アルキル、(iii) -C₅₋₆シクロアルキル-Yもしくは-C₁₋₃アルキル-Yであって、Yが-CN、-OHもしくは-OCH₃であるもの、または(iv)独立にハロゲン、-CN、-OH、-C₁₋₄アルキル、-OC₁₋₄アルキルもしくは-C(=O)C₁₋₂アルキルである1から3個の基で置換されたフェニルであって、あらゆる場合でアルキルおよびシクロアルキルが1から3個のハロゲンで置換されていても良いもの；

(b) D¹(D¹は-CO₂H、-CO₂C₁₋₄アルキルまたは-C(=O)NR²R³である。)；

(c) - C₁ -₄ アルキル - D¹ (アルキルは 1 から 3 個の F で置換されていても良い。) ;

(d) - C₃ -₆ シクロアルキル - D¹ (シクロアルキルは、独立に - C H₃、 C F₃ もしくはハロゲンである 1 から 2 個の基で置換されていても良い。) ;

(e) - C₃ -₆ シクロアルキル - C H₂ - D¹ (シクロアルキルは、独立に - C H₃、 C F₃ もしくはハロゲンである 1 から 2 個の基で置換されていても良い。) ;

(f) - フェニル - D¹ (フェニルは、独立にハロゲン、 - C H₃、 - C F₃、 - O C H₃ もしくは - O C F₃ である 1 から 3 個の置換基で置換されていても良い。) ;

(g) - H E T (1) - D¹ (H E T (1) は、独立に N、 O、 S、 S (O) もしくは S (O)₂ である 1 から 2 個のヘテロ原子基を有する 5 から 6 員のヘテロ芳香族環であり、 H E T (1) は独立にハロゲン、 - C H₃、 - C F₃、 - O C H₃ もしくは - O C F₃ である 1 から 3 個の置換基で置換されていても良い。) ; または

(h) - (C H₂)₁ -₂ - H E T (2) (H E T (2) は N、 O もしくは S である 2 から 4 個のヘテロ原子基を有する 5 員のヘテロ芳香族環であり、 H E T (2) は独立に - C H₃ もしくはハロゲンである 1 から 2 個の基で置換されていても良い。) である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R¹ が C H₃ であり；

各 R^a が独立に C F₃、 C H₃、 - O C F₃、 C l、 F、 シクロプロピルもしくは - C N であり；

R^c が (a) R^c が結合しているヘテロ芳香族環に結合した 1 個の N を含む 4 から 6 員の単環式複素環であって、前記単環式複素環が 1 から 2 個の二重結合、 1 個のカルボニルおよびそれぞれ独立に O、 N もしくは - S (O)₂ - である 1 から 2 個の別のヘテロ原子基を含んでいても良いもの、または (b) R^c が結合しているヘテロ芳香族環に結合した 1 個の N を含む 6 から 7 員の二環式複素環であって、前記二環式複素環が 1 から 2 個の二重結合、 1 個のカルボニルおよびそれぞれ独立に N、 O もしくは - S (O)₂ - である 1 から 2 個の別のヘテロ原子基を含んでいても良いものであり、 (a) もしくは (b) で定義の R^c がそれぞれ独立にハロゲン、 - O H、 C H₃、 - O C H₃、 C F₃ もしくは - O C F₃ である 1 から 2 個の置換基で置換されていても良く；

各 R^c が独立に - C H₃ または B r であり；

R^b が H、 - C₁ -₂ アルキル、 - O C H₃、 C l、 F もしくは - O - シクロプロピルであり；

R^b が F であり；

X が

(a) C l、 - C H₂ C N、 - (C H₂)₁ -₃ O H、 - (C H₂)₁ -₃ O C H₃、 - C H (C H₃)₂ であって、 1 から 3 個の F および 1 個の - O H、 - シクロペンチル - O H、 - シクロヘキシル - C N または - O H および - C (= O) C H₃ である 2 個の置換基で置換されたフェニルで置換されていても良いもの；

(b) D¹ (D¹ は - C O₂ H または - C O₂ C₁ -₄ アルキルである。) ;

(c) - C₁ -₄ アルキル - D² (D² は、 - C O₂ H、 - C O₂ C₁ -₄ アルキルまたは - C (= O) N R² R³ である。) ;

(d) - C₃ -₆ シクロアルキル - D² ;

(e) - C₃ -₆ シクロアルキル - C H₂ - D¹ ;

(f) - フェニル - D¹ (フェニルは独立にハロゲンもしくは - C H₃ である 1 から 3 個の置換基で置換されていても良い。) ;

(g) - H E T (1) - D¹ (H E T (1) は独立に N、 O もしくは S である 1 から 2 個のヘテロ原子を有する 5 から 6 員のヘテロ芳香族環であり、 H E T (1) は独立にハロゲン、 - C H₃、 - C F₃、 - O C H₃ もしくは - O C F₃ である 1 から 3 個の置換基で置換されていても良い。) ; または

(h) - (C H₂)₁ -₂ - H E T (2) (H E T (2) は 2 から 4 個の N 原子を有す

る 5 員のヘテロ芳香族環であり、 H E T (2) は独立に - C H ₃ もしくはハロゲンである 1 から 2 個の基で置換されていても良い。)
であり；

e が 1 から 3 の整数である請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

H E T (1) がイソオキサゾール、ピラゾール、ピラジン、チオフェン、フラン、チアゾール、ピロール、ピリジンまたはイミダゾールである請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 5】

H E T (2) がトリアゾール、テトラゾールまたはイミダゾールである請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 6】

R ^c が、 (a) R ^c が結合しているヘテロ芳香族環に結合した 1 個の N を含む 4 から 6 員の単環式複素環であって、当該単環式複素環が 1 個のカルボニルおよび O 、 N もしくは - S (O) ₂ である 1 個の別のヘテロ原子基を含んでいても良いもの、 (b) R ^c が結合しているヘテロ芳香族環に結合した 1 個の N を含む 5 員の単環式ヘテロ芳香族環であって、当該 5 員の単環式ヘテロ芳香族環が N である 1 個の別のヘテロ原子基を含んでいても良いもの；または (c) R ^c が結合しているヘテロ芳香族環に結合した 1 個の N を含む 6 から 7 員の二環式複素環であって、当該二環式複素環が N もしくは O である 1 個の別のヘテロ原子基を含んでいても良いものであり； (a) 、 (b) もしくは (c) で定義の R ^c がそれぞれ独立に F 、 - O H 、 C H ₃ 、 - O C H ₃ 、 C F ₃ もしくは - O C F ₃ である 1 から 2 個の置換基で置換されていても良い請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 7】

前記置換基 R ^c がアゼチジン、アゼチジノン、ピロリジン、ピペリジン、モルホリン、イミダゾール、ピラゾール、イソチアゾリジン 1 , 1 - ジオキサイド、二つの環員間で架橋するメチレン基を含むモルホリン環または縮合シクロプロピル環を含むピロリジン環であり、 R ^c がそれぞれ独立にハロゲン、 - O H 、 - C H ₃ 、 - O C H ₃ 、 - C F ₃ もしくは - O C F ₃ である 1 から 3 個の置換基で置換されていても良い請求項 3 に記載の化合物。

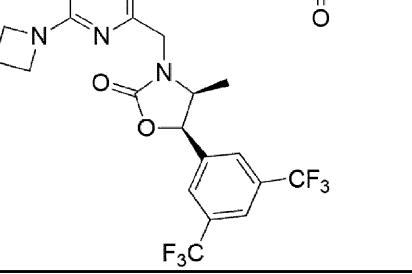
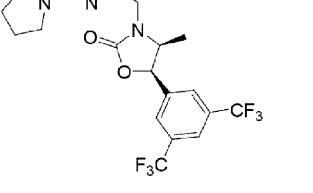
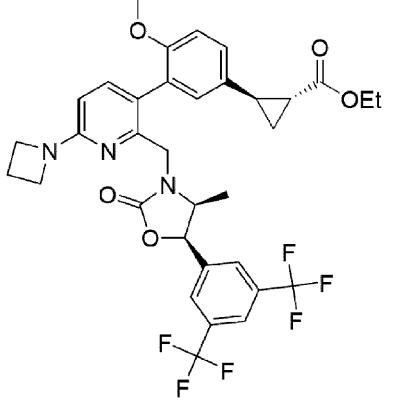
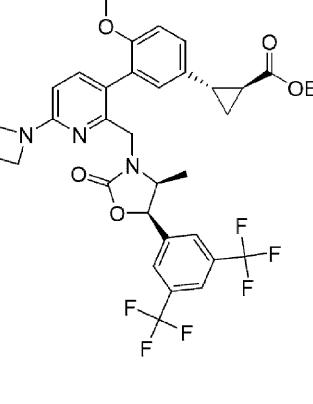
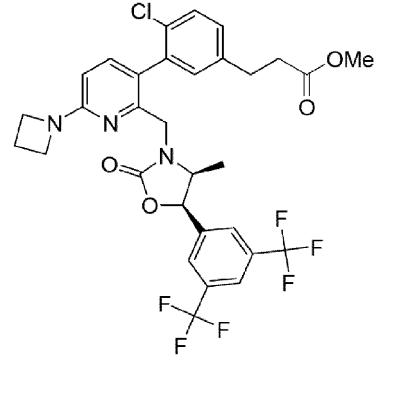
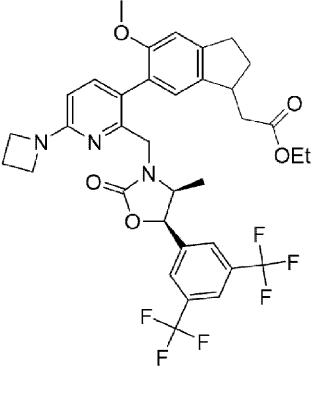
【請求項 8】

R ^c がそれぞれ独立に F 、 - C H ₃ 、 - O H もしくは - O C H ₃ である 1 から 2 個の置換基で置換されていても良い請求項 7 に記載の化合物。

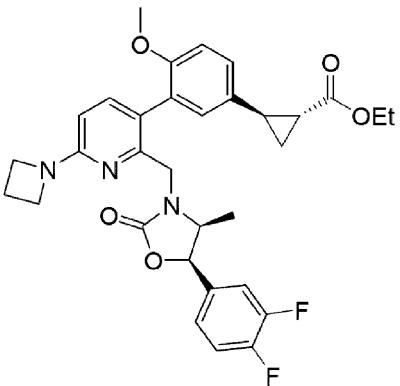
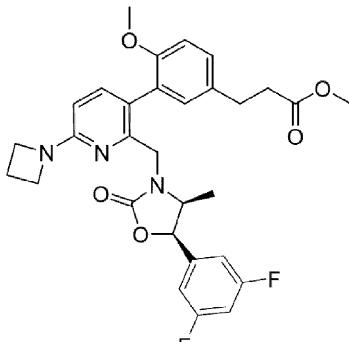
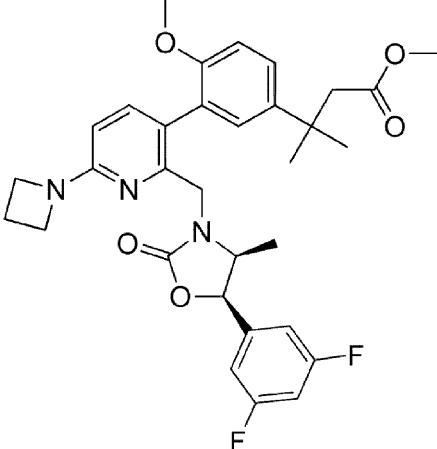
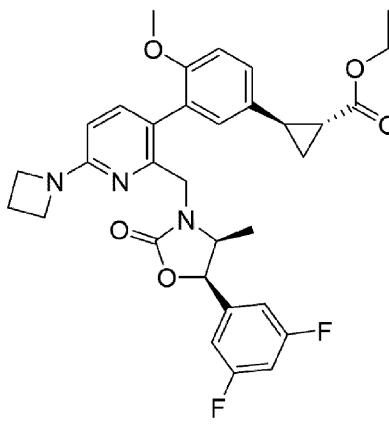
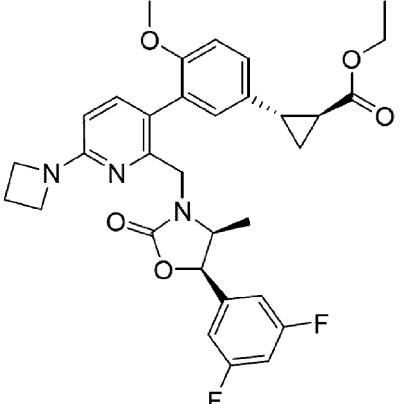
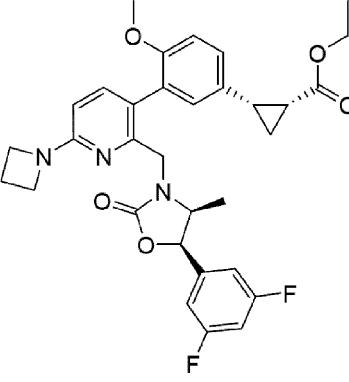
【請求項 9】

下記の構造を有する請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩。

【表1】

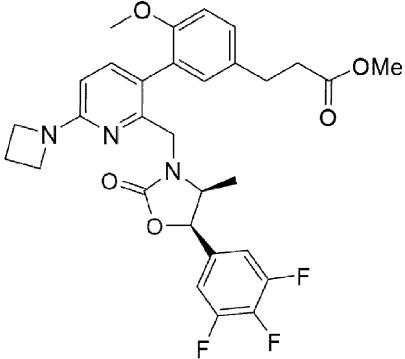
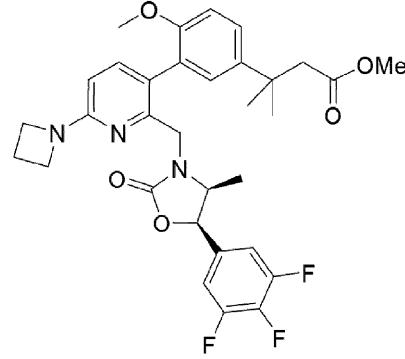
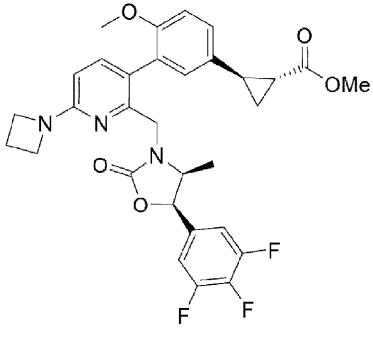
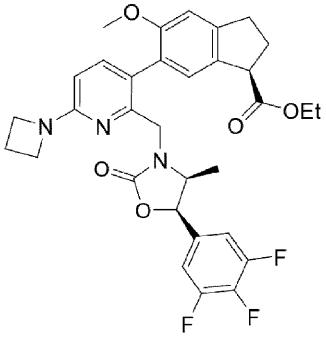
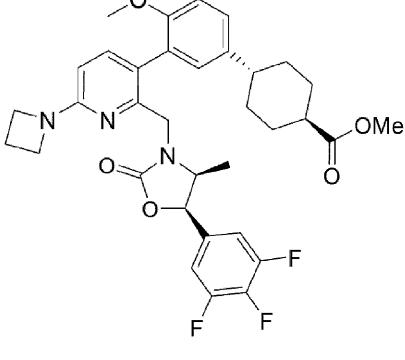
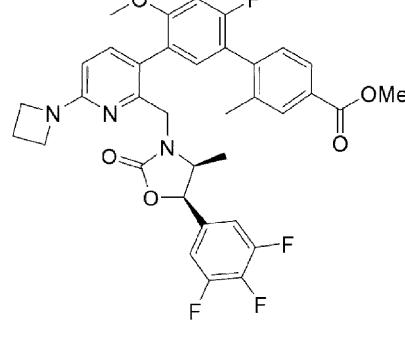
実施例 1		実施例 2	
実施例 3		実施例 4	
実施例 5		実施例 6	

実施例 7		実施例 8	
実施例 9		実施例 10	
実施例 11		実施例 12	

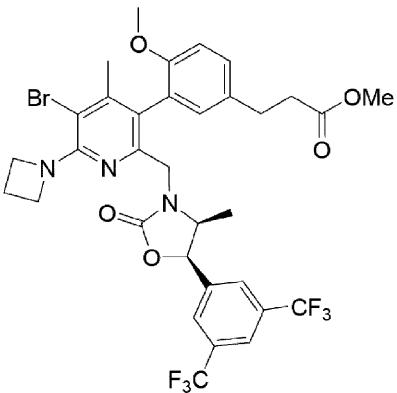
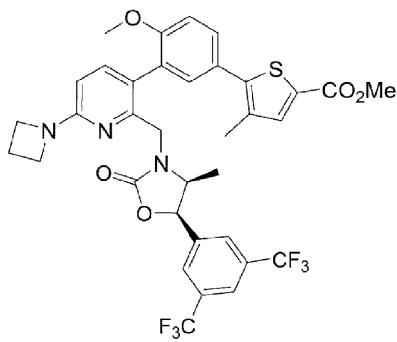
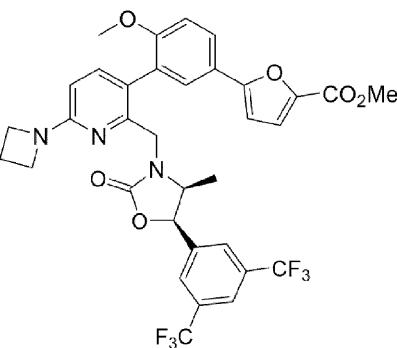
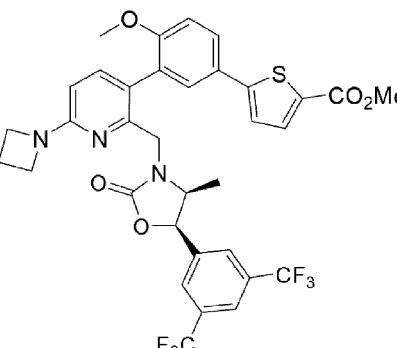
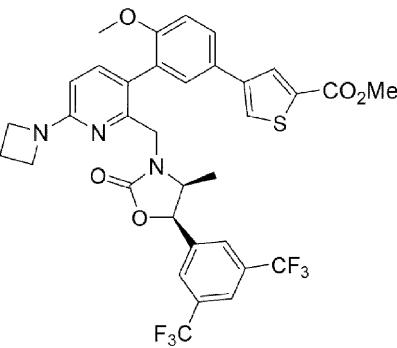
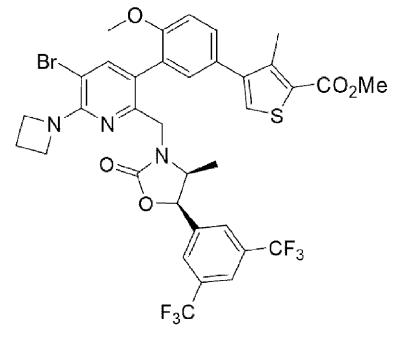
実施例 13		実施例 14	
実施例 15		実施例 16	
実施例 17		実施例 18	

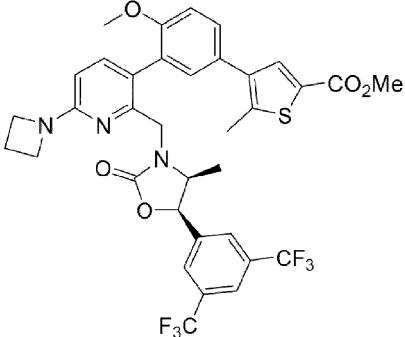
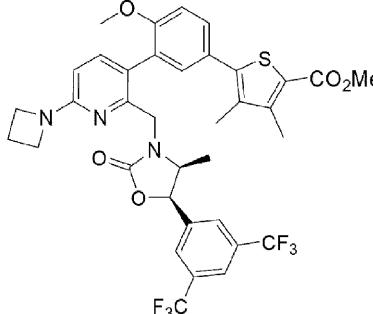
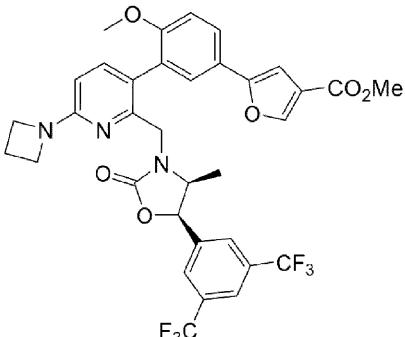
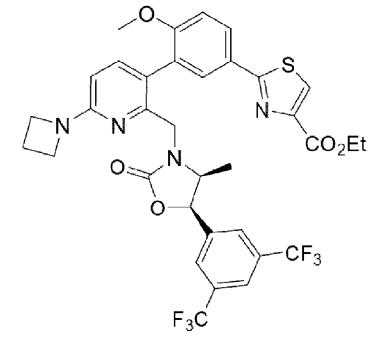
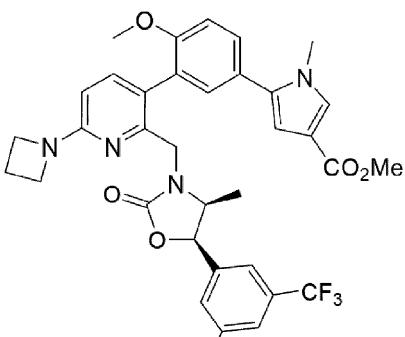
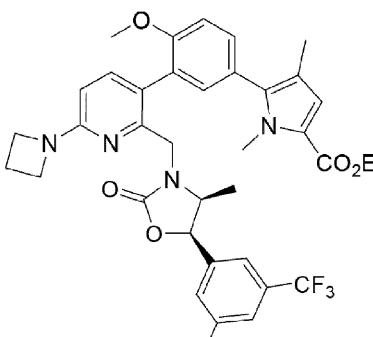
実施例 19		実施例 20	
実施例 21		実施例 22	
実施例 23		実施例 24	

実施例 25		実施例 26	
実施例 27		実施例 28	
実施例 29		実施例 30	

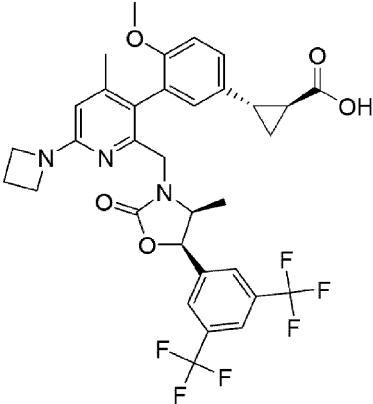
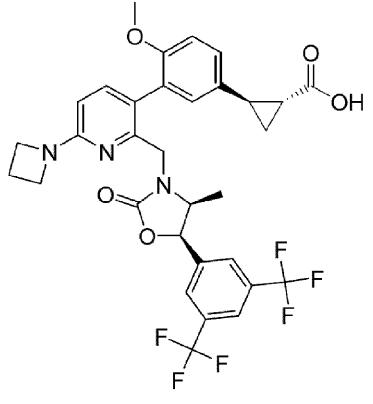
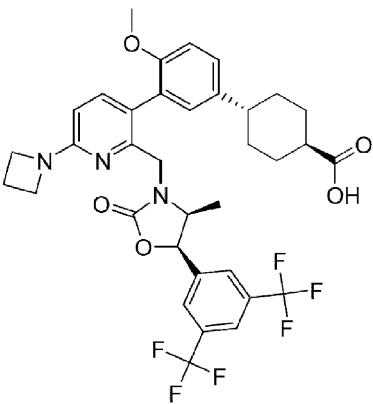
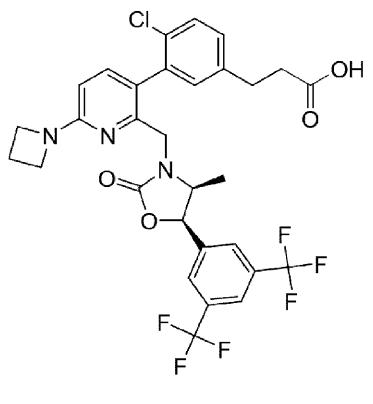
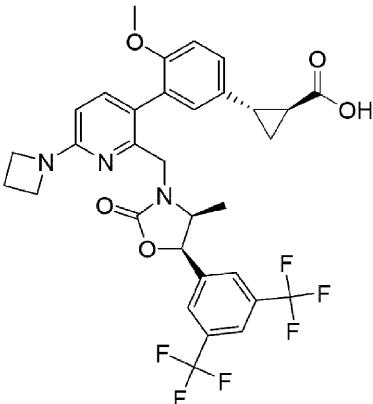
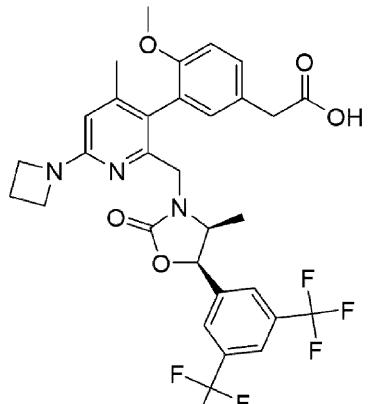
実施例 31		実施例 32	
実施例 33		実施例 34	
実施例 35		実施例 36	

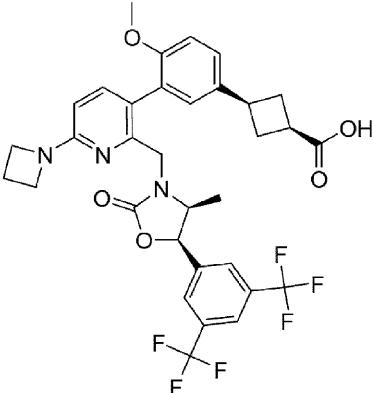
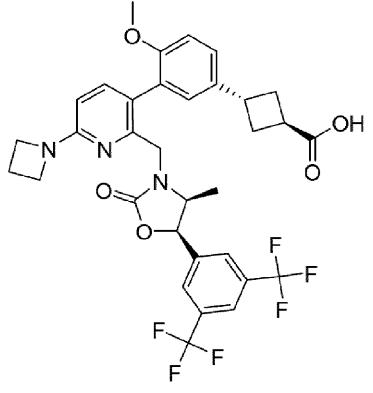
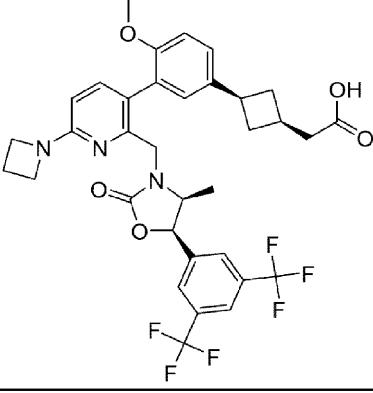
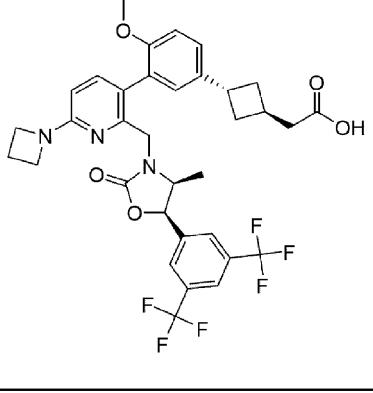
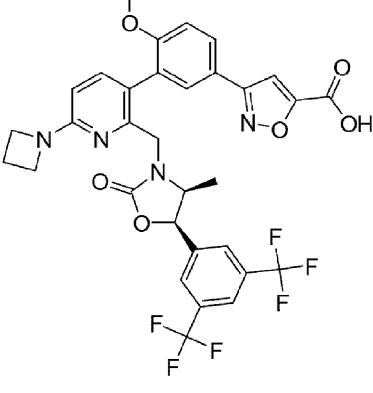
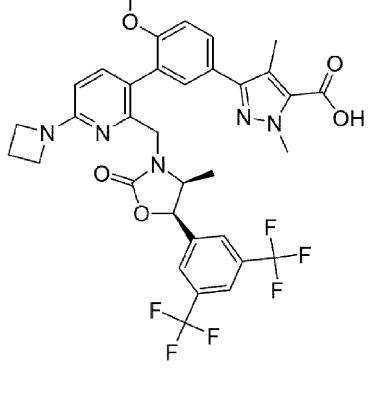
実施例 37		実施例 38	
実施例 39		実施例 40	
実施例 41-42		実施例 43-44	

実施例 45		実施例 46	
実施例 47		実施例 48	
実施例 49		実施例 50	

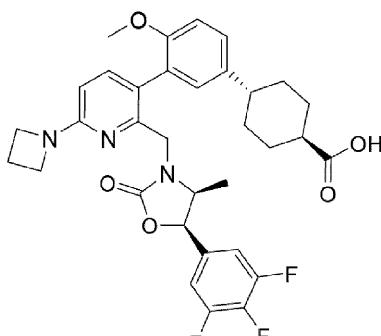
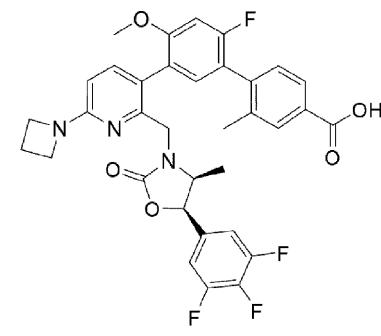
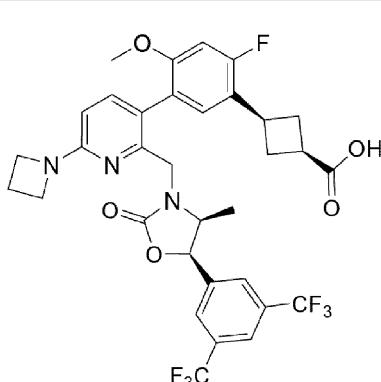
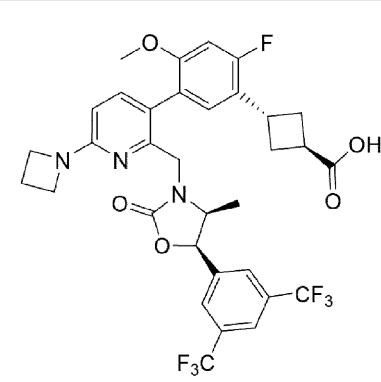
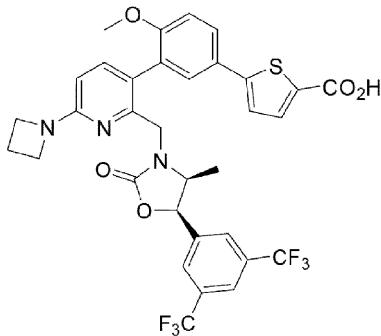
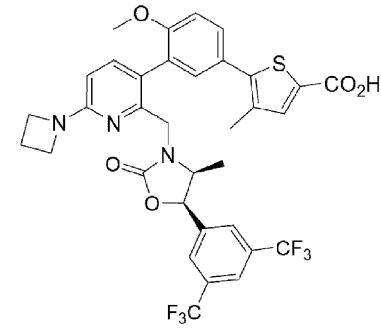
実施例 51		実施例 52	
実施例 53		実施例 54	
実施例 55		実施例 56	

実施例 57		実施例 58	
実施例 59		実施例 60	
実施例 61		実施例 62	
実施例 63		実施例 64	

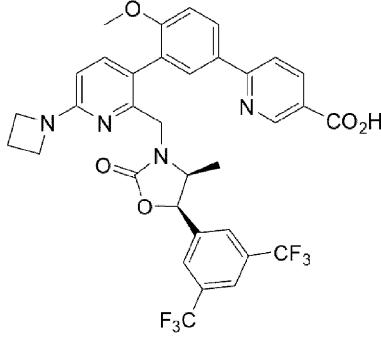
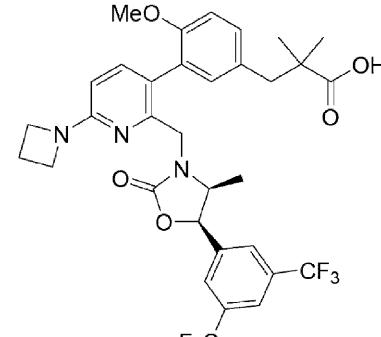
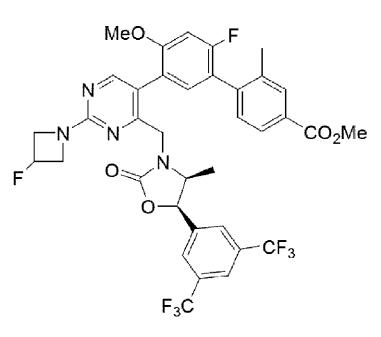
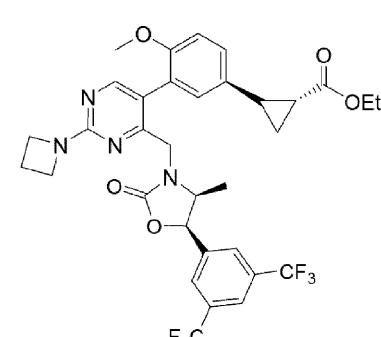
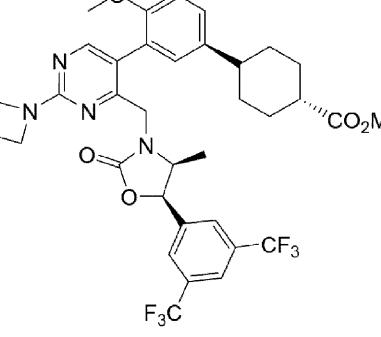
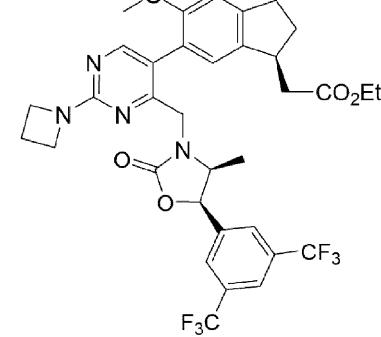
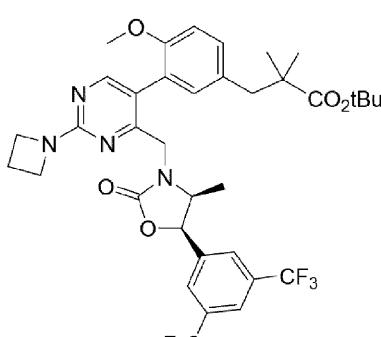
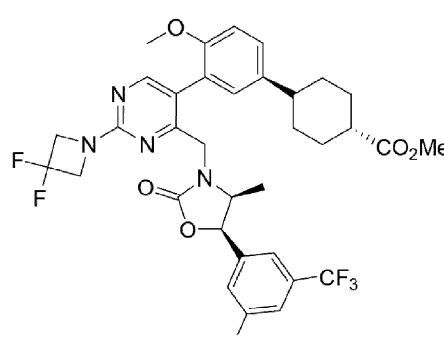
実施例 71		実施例 72	
実施例 73		実施例 74	
実施例 75		実施例 76	

実施例 89		実施例 90	
実施例 91		実施例 92	
実施例 93		実施例 94	

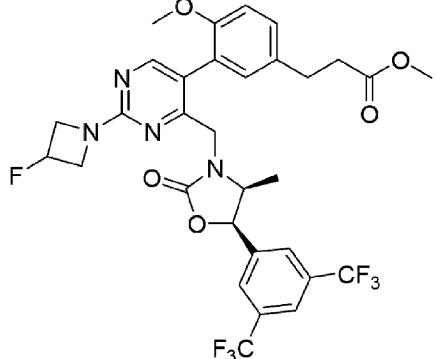
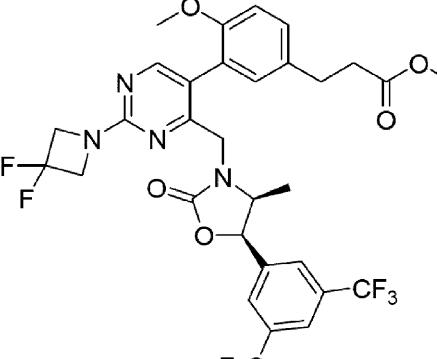
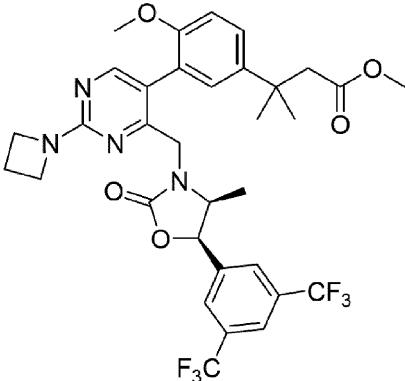
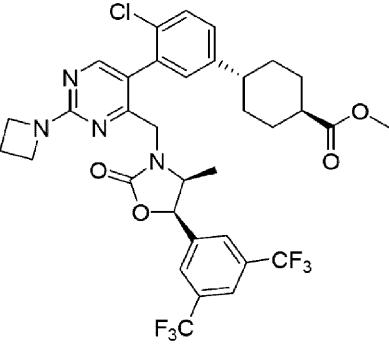
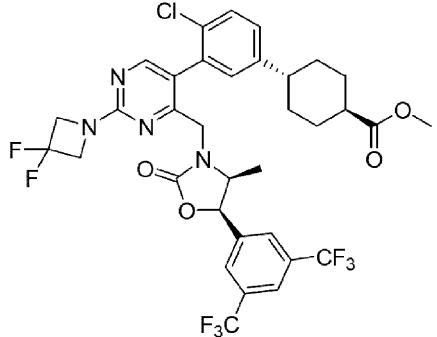
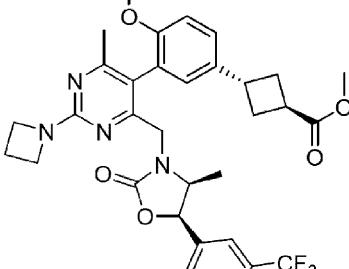
実施例 95		実施例 96	
実施例 97		実施例 98	
実施例 99		実施例 100	

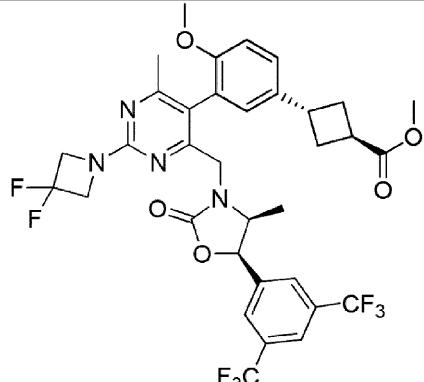
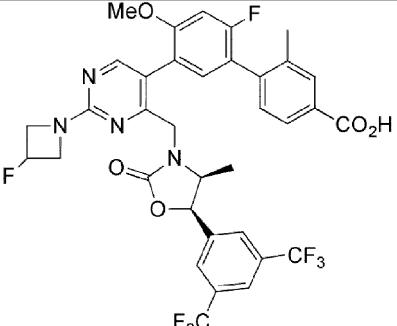
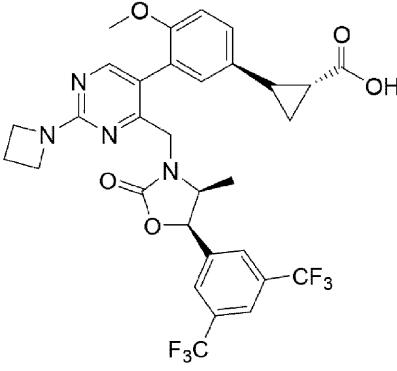
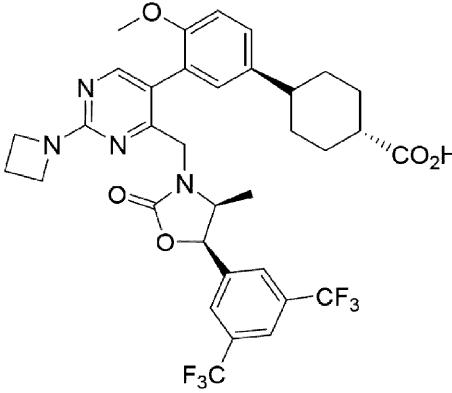
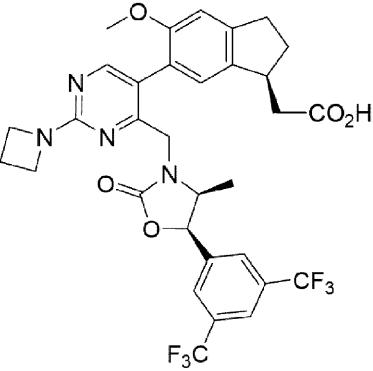
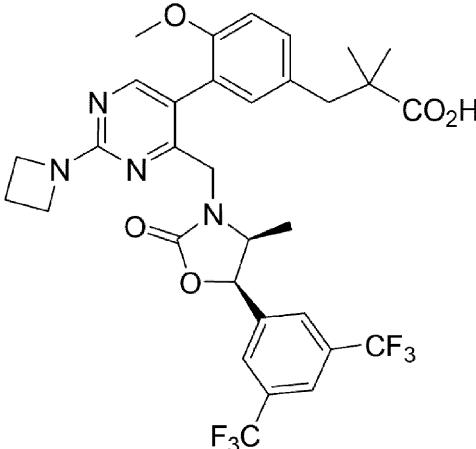
実施例 101		実施例 102	
実施例 103		実施例 104	
実施例 105		実施例 106	

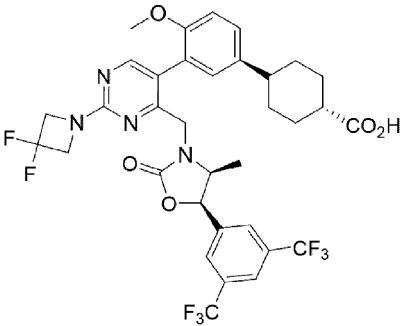
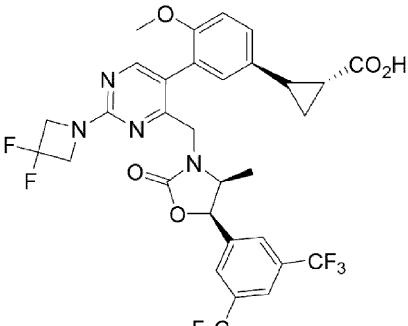
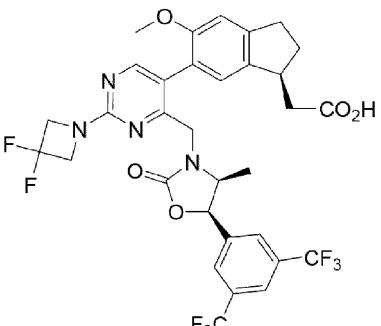
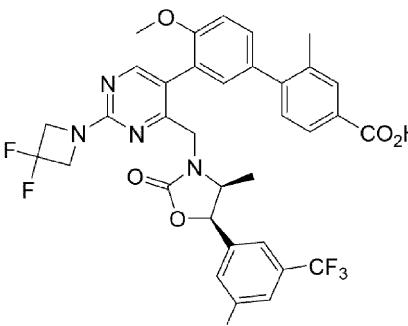
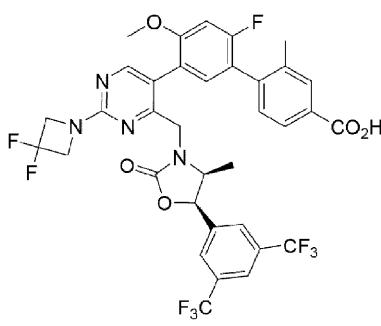
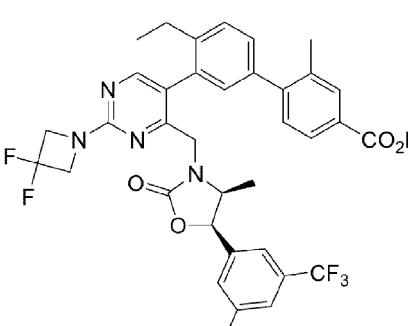
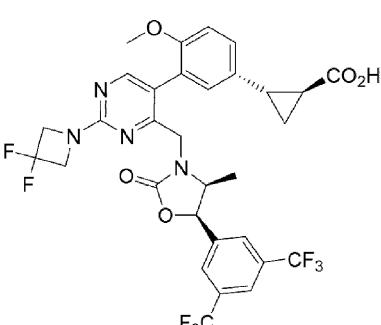
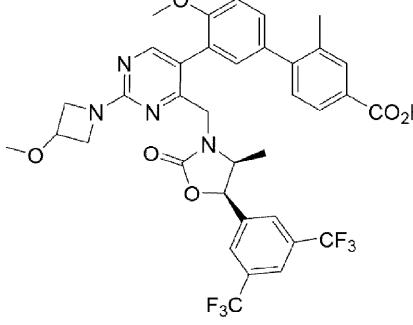
実施例 115		実施例 116	
実施例 117		実施例 118	
実施例 119		実施例 120	

実施例 121		実施例 122	
実施例 123		実施例 124	
実施例 125		実施例 126	
実施例 127		実施例 128	

実施例 129		実施例 130	
実施例 131		実施例 132	
実施例 133		実施例 134	
実施例 135		実施例 136	

実施例 143		実施例 144	
実施例 145		実施例 146	
実施例 147		実施例 148-149	 <p>アトロブ異性体AおよびB</p>

実施例 150-151		実施例 152	
実施例 153		実施例 154	
実施例 155		実施例 156	

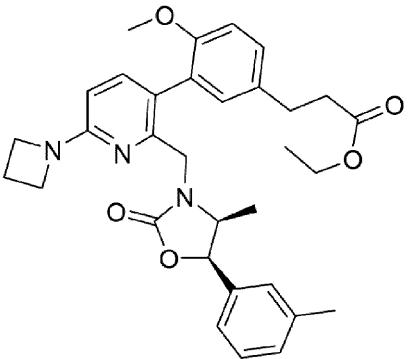
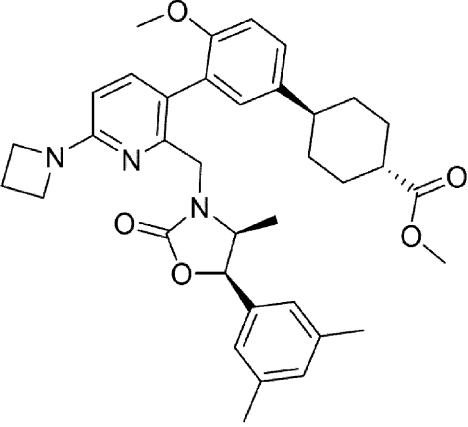
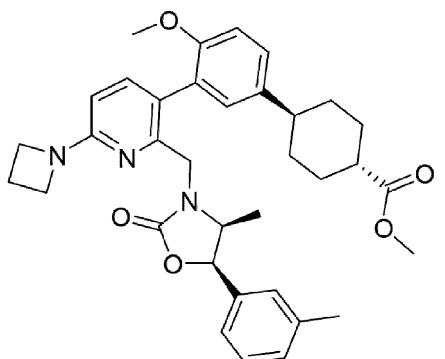
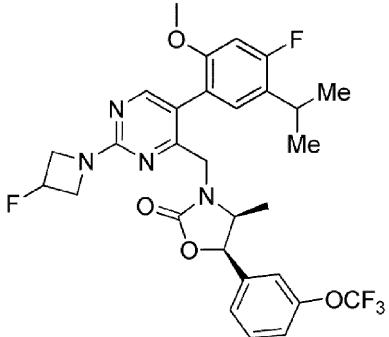
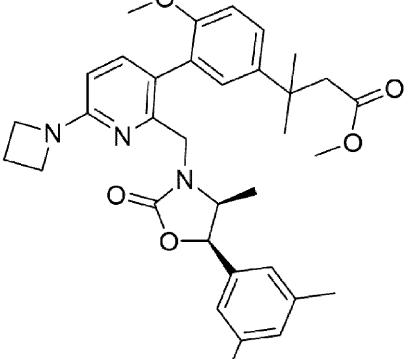
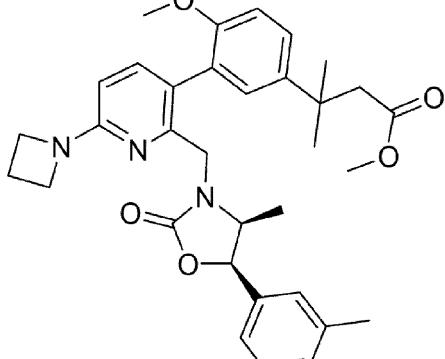
実施例 157		実施例 158	
実施例 159		実施例 160	
実施例 161		実施例 162	
実施例 163		実施例 164	

実施例 165		実施例 166	
実施例 167		実施例 168	
実施例 169		実施例 170	

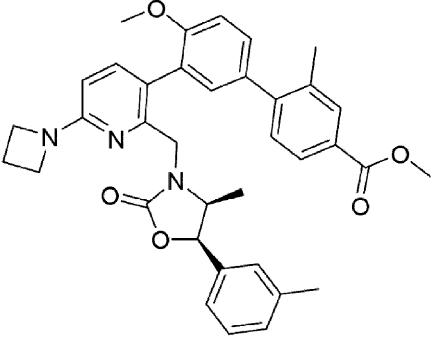
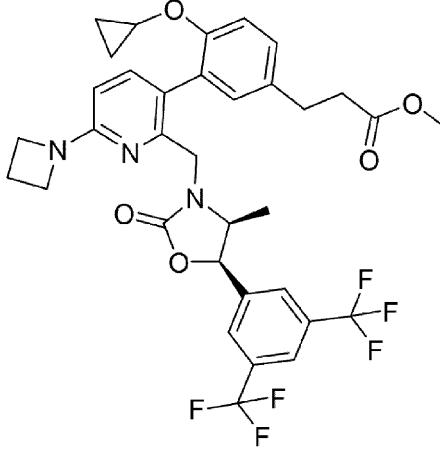
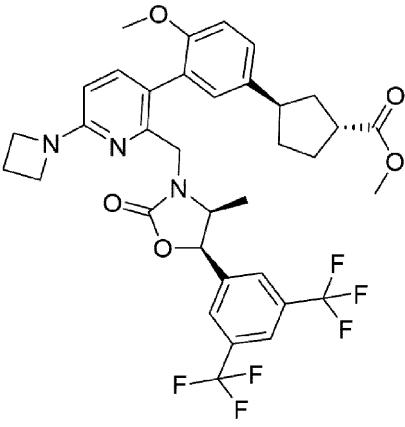
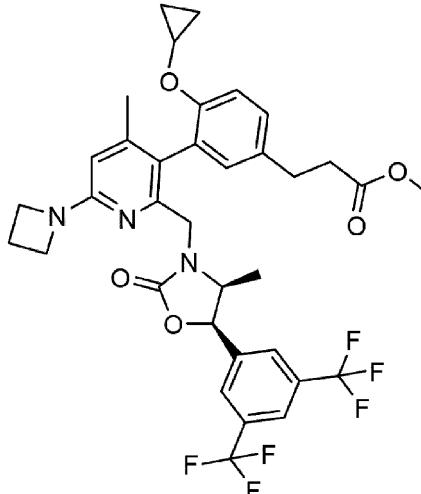
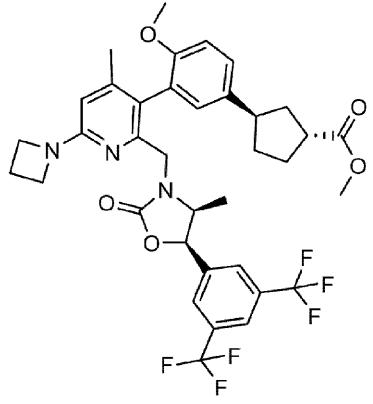
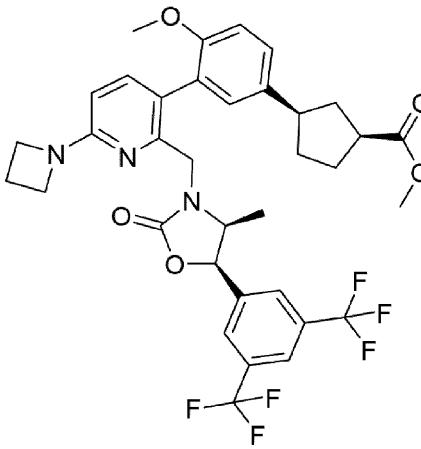
実施例 171		実施例 172	
実施例 173		実施例 174	
実施例 175		実施例 176	
実施例 177		実施例 178	

実施例 179-180		実施例 181-182	
実施例 183		実施例 184	
実施例 185		実施例 186	

実施例 193		実施例 194	
実施例 195		実施例 196	
実施例 197		実施例 198	

実施例 199		実施例 200	
実施例 201		実施例 151(a)	
実施例 202		実施例 203	

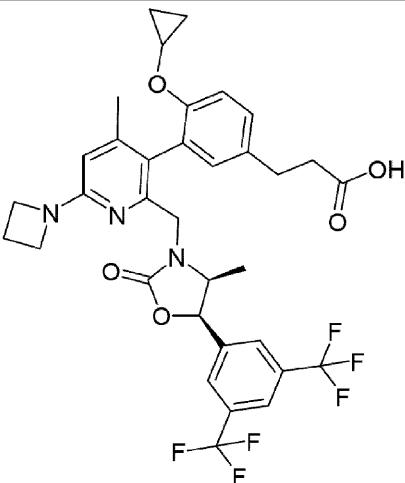
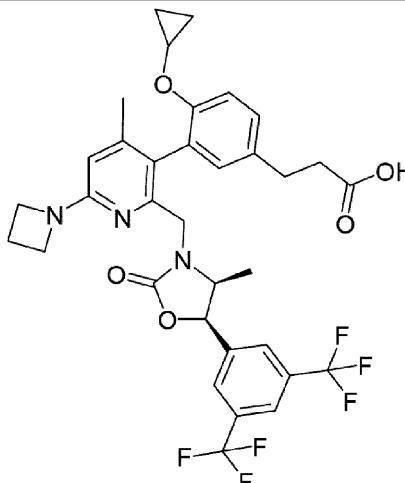
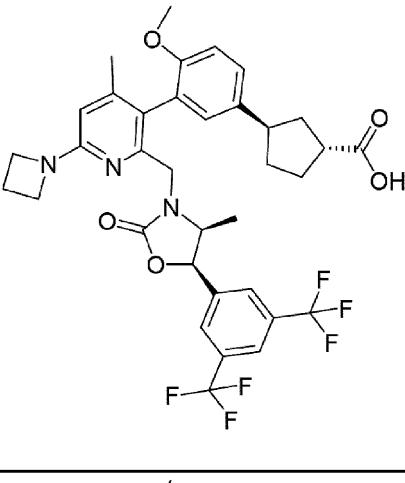
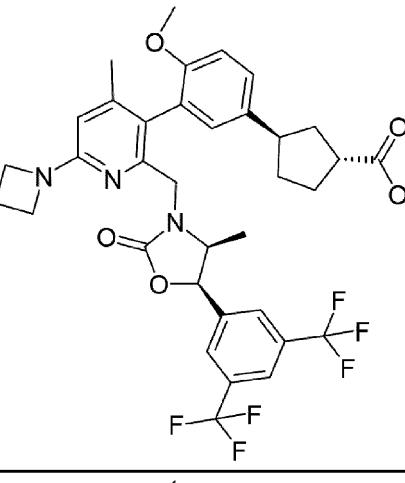
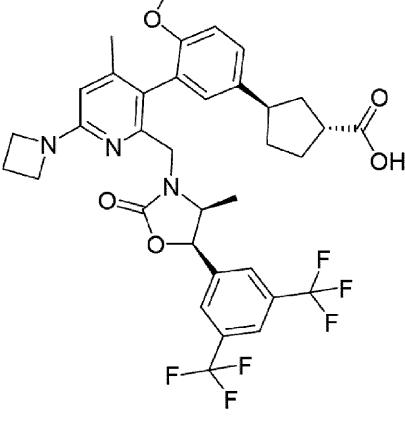
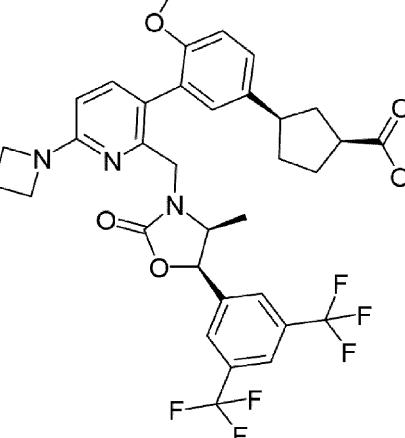
実施例 204		実施例 205	
実施例 206		実施例 207	
実施例 208		実施例 209	
実施例 210		実施例 211	

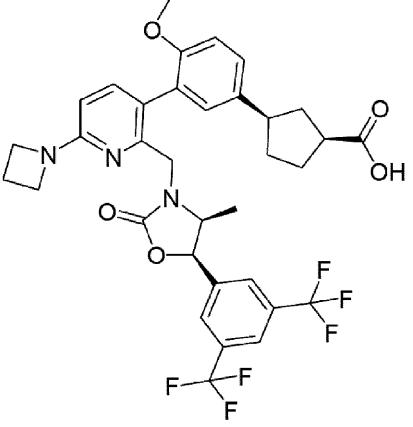
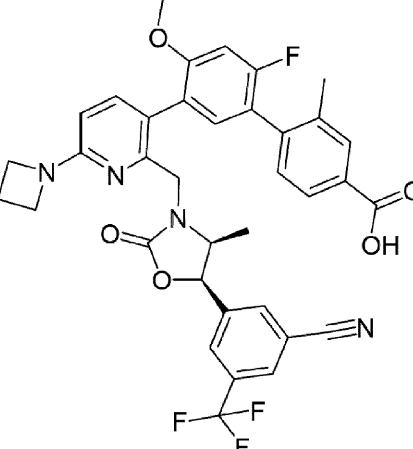
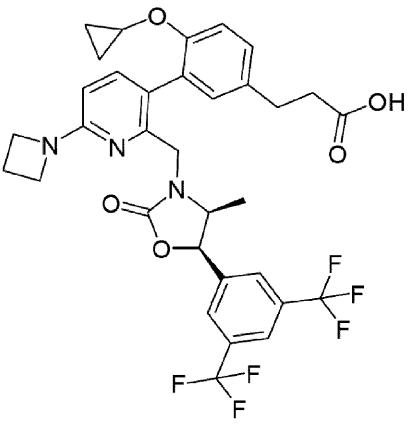
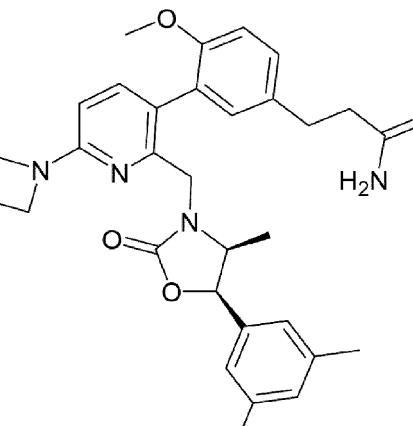
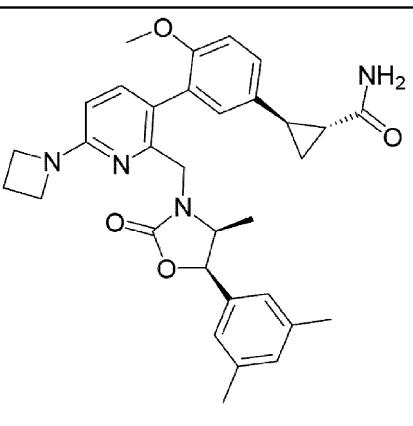
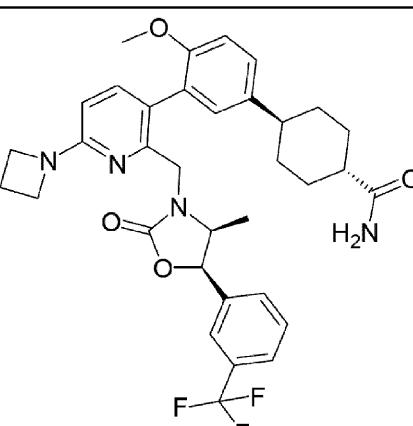
実施例 212		実施例 213	
実施例 214		実施例 215	
実施例 216		実施例 217	

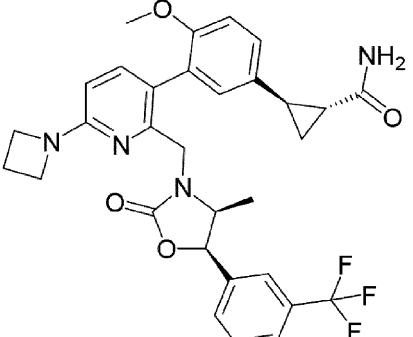
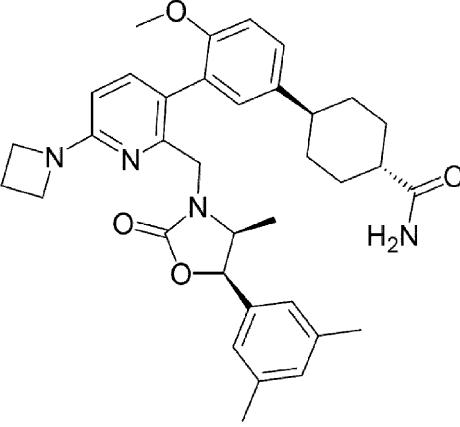
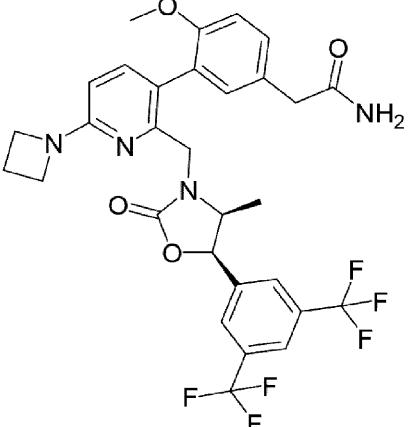
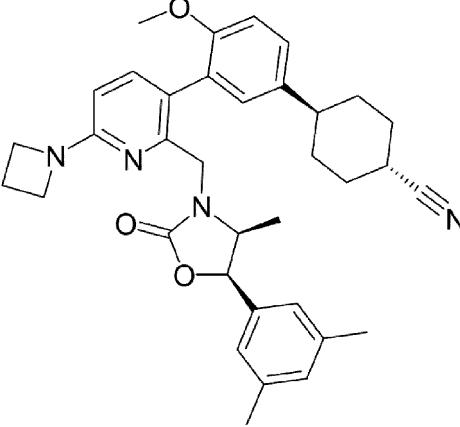
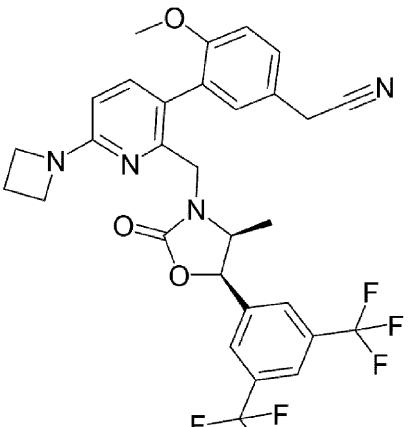
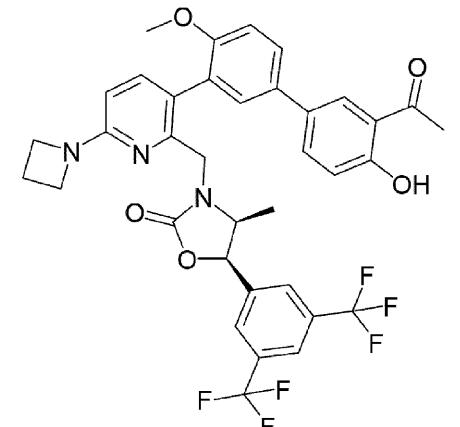
実施例 218		実施例 219	
実施例 220		実施例 221	
実施例 222		実施例 223	

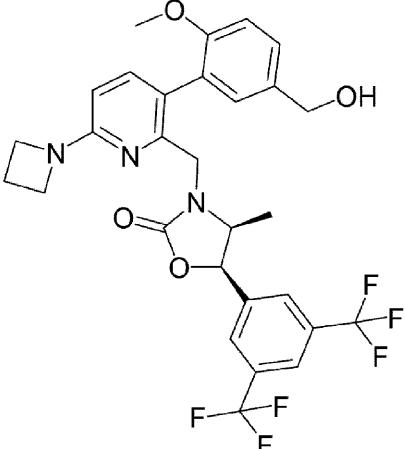
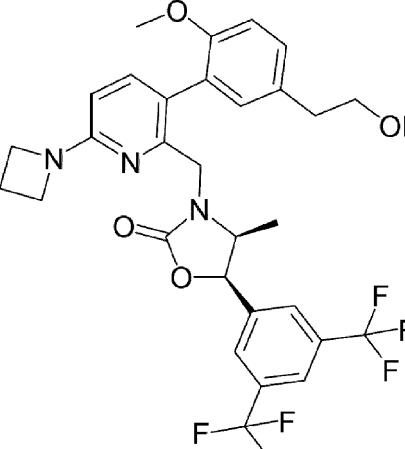
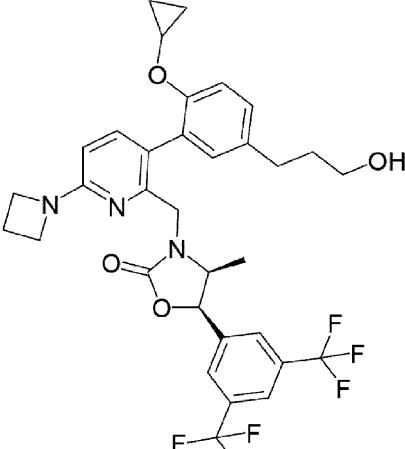
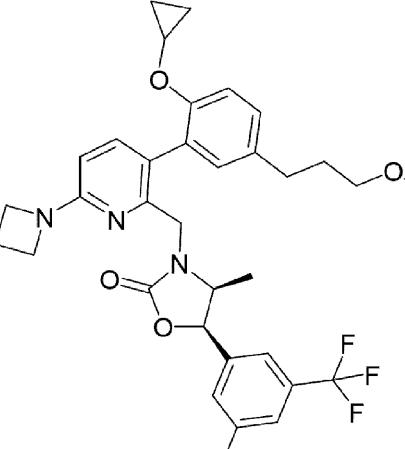
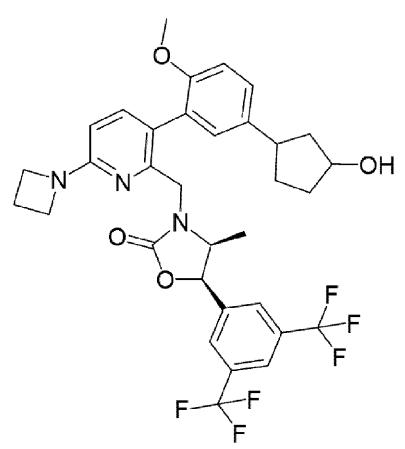
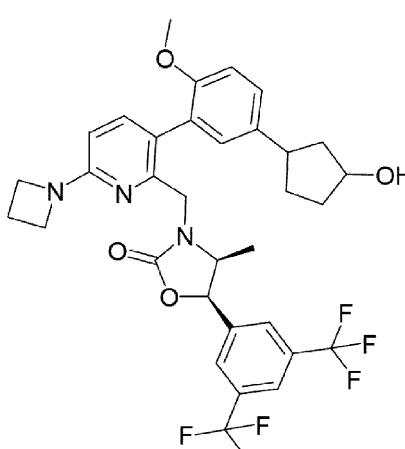
実施例 224		実施例 225	
実施例 226		実施例 227	
実施例 228		実施例 229	
実施例 230		実施例 231	

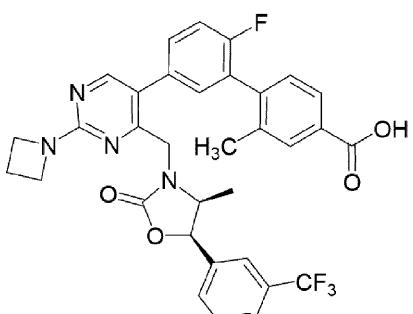
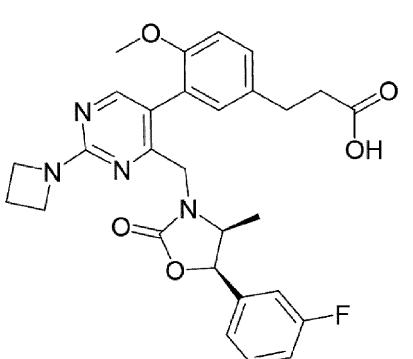
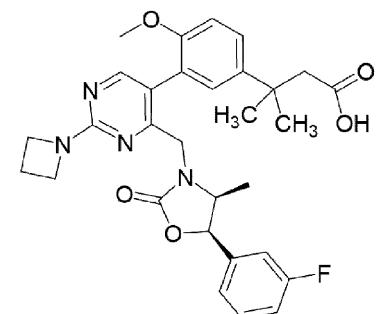
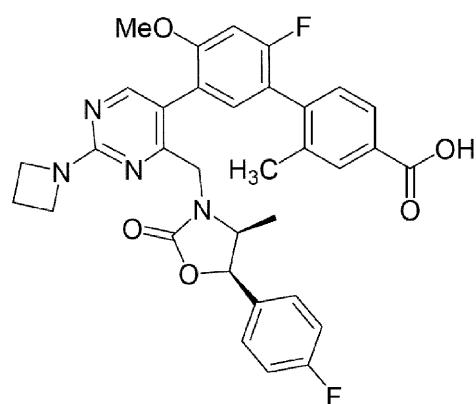
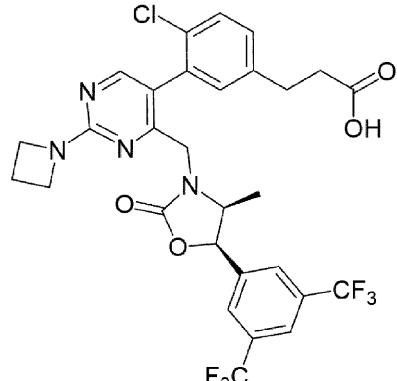
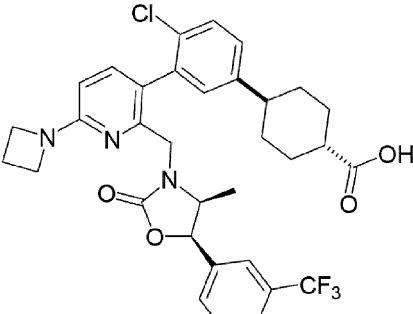
実施例 232		実施例 233	
実施例 234		実施例 235	
実施例 236		実施例 237	
実施例 238		実施例 239	

実施例 240		実施例 241	
実施例 242		実施例 243	
実施例 244		実施例 245	

実施例 246		実施例 247	
実施例 248		実施例 249	
実施例 250		実施例 251	

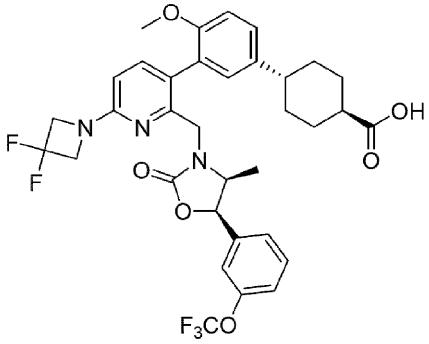
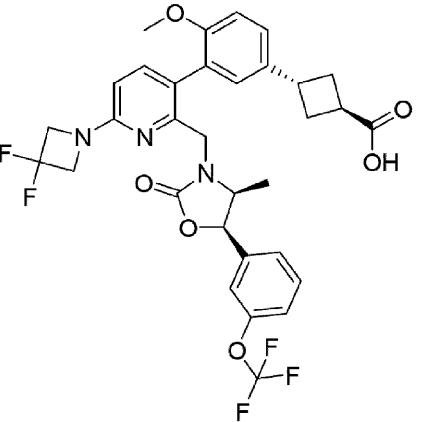
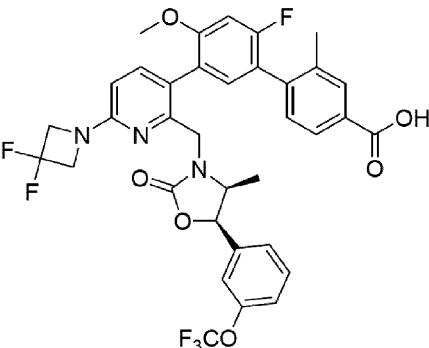
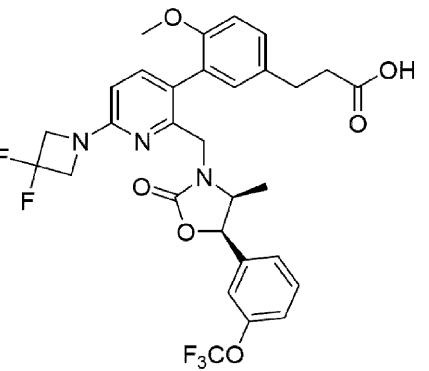
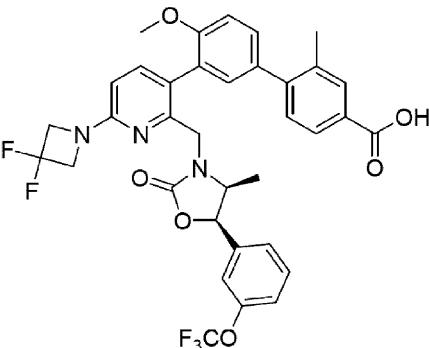
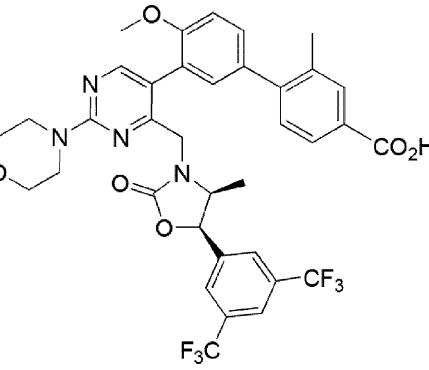
実施例 252		実施例 253	
実施例 254		実施例 255	
実施例 256		実施例 257	

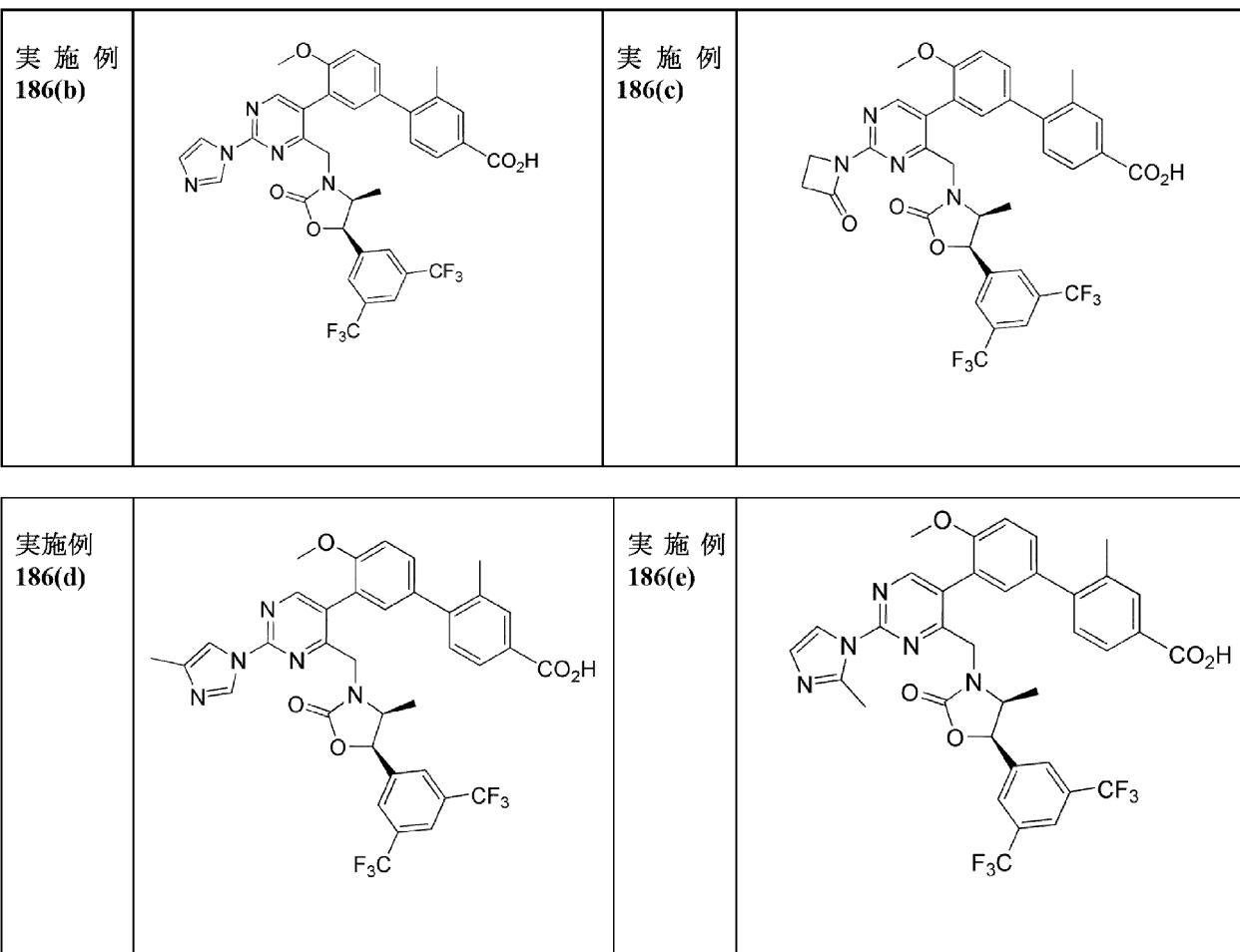
実施例 258		実施例 259	
実施例 260		実施例 261	
実施例 262		実施例 263	

実施例 276		実施例 277	
実施例 278		実施例 279	
実施例 280		実施例 281	

実施例 282		実施例 283	
実施例 284		実施例 285	
実施例 286		実施例 287	

実施例 288		実施例 289	
実施例 290		実施例 291	
実施例 292		実施例 293	

実施例 294		実施例 295	
実施例 296		実施例 297	
実施例 298		実施例 186(a)	



実施例 186(f)		実施例 186(g)	
実施例 186(h)		実施例 186(i)	
実施例 186(j)		実施例 248(a)	

実施例 299		実施例 300	
実施例 301		実施例 302	<p>または</p>
実施例 303			

【請求項 10】

請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩および医薬として許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩を含む、アテローム性動脈硬化症の治療用医薬組成物。

【請求項 1 2】

請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩を含む、HDL-Cを上昇させるための医薬組成物。

【請求項 1 3】

請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩を含む、LDL-Cを低下させるための医薬組成物。

【請求項 1 4】

請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩を含む、異脂肪血症の治療用組成物。

【請求項 1 5】

アテローム性動脈硬化症治療のための医薬の製造における請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩の使用。

【請求項 1 6】

アテローム性動脈硬化症治療で使用される請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩。

【請求項 1 7】

請求項 1 に記載の化合物または該化合物の医薬として許容される塩、医薬として許容される担体、および

- (i) HMG-CoA還元酵素阻害剤；
- (i i) 胆汁酸捕捉剤；
- (i i i) ナイアシンおよび関連化合物；
- (i v) PPAR 作動薬；
- (v) コレステロール吸収阻害剤；
- (v i) アシルCoA：コレステロールアシル転移酵素（ACAT）阻害剤；
- (v i i) フェノール系抗酸化剤；
- (v i i i) ミクロソームトリグリセリド輸送タンパク質（MTP）/apoB 分泌阻害剤；
- (i x) 抗酸化性ビタミン；
- (x) 甲状腺ホルモン模倣体；
- (x i) LDL（低密度リポタンパク質）受容体誘導物質；
- (x i i) 血小板凝集阻害剤；
- (x i i i) ビタミンB12（シアノコバラミンとしても知られる）；
- (x i v) 葉酸または医薬として許容されるこの塩もしくはエステル；
- (x v) FXR およびLXRリガンド；
- (x v i) ABCA1遺伝子発現を増強する薬剤；または
- (x v i i) 回腸胆汁酸輸送体

である 1 以上の有効成分を含む医薬組成物。